

連通試験システム



連通試験装置

●概要

連通試験システムは、水門等の河川構造物と堤防・基礎地盤との漏水現象を調査するシステムで、左図に示す装置を用いて試験を実施することができます。試験時の測定結果はパソコンに通信されるので、測定人員も減り、簡便な操作で試験を容易にかつ正確に行うことができます。

●装置の特長

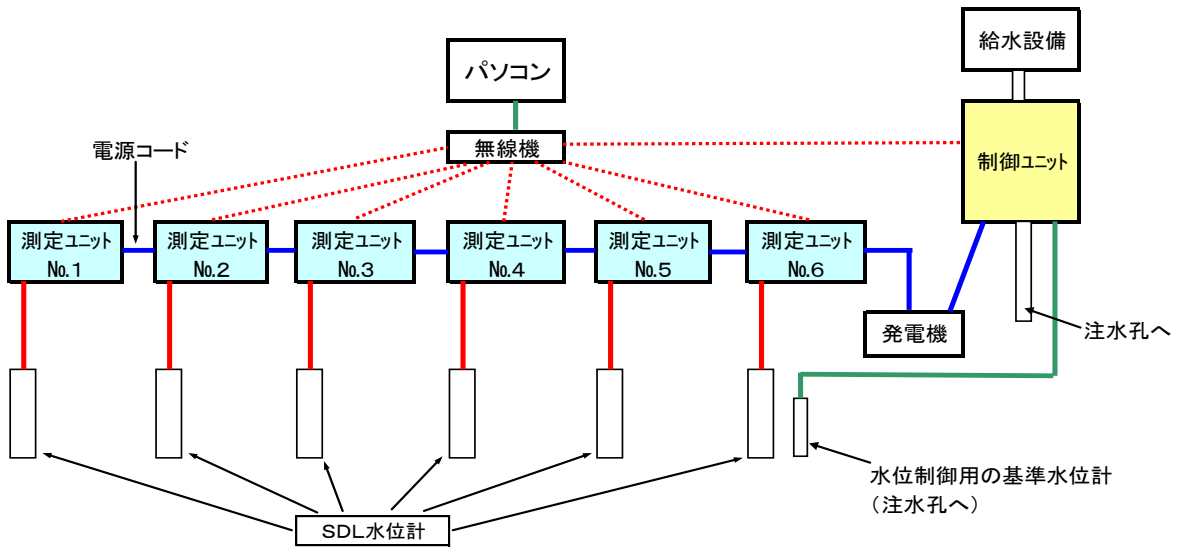
- 小型、軽量で持ち運びが容易です。
- 操作はパソコンによりすべてのユニットを制御することができます。
- 注水孔の試験水位を設定すれば注水量は自動制御されます。
- 観測孔の測定は5秒間隔、30秒毎にパソコンに自動転送されます。
- 測定データは各ユニット内にも残されバックアップが可能です。
- 試験中、リアルタイムにデータをグラフ表示します。

●制御ユニットの特長

- 水位制御用水位計と接続し注入孔の設定水位を維持するように注入流量が調整されます。
- 設定水位の制御は初期水位から+1m以内までを標準とします。
- 水位制御は、パソコンから指示で動作する自動モードの他、流量が非常に少ない場合に作動させる手動モードも備えています。
- 装置内に無線LANを内蔵。パソコンとの通信は無線が可能です。



制御(フローコントローラ)ユニット



解析結果例

